

海外研修派遣

2003.07.24 氏名:池本一三 (美術学部助教授)

研究課題:ヨーロッパのガラスエナメル絵付の技法研究及び美術館、博物館、ガラス学校、教会を視察 期間:H15.7.24～H15.10.3 研修国:イタリア、ドイツ、フランス
研修先:バチカン博物館、サン.フランチェスコ寺院、ヴェネチアビエンナーレ、Einsh factory、レーンバツハ市立美術館、古代美術館(ミュンヘン)ノイエ.ピナコテーク、アルテ.ピナコテーク、シュトツガルト州立美術館、ヴィンダ・マングラス博物館、ストラスブル大聖堂、ナンシー派美術館、ランス大聖堂、サンテティエンヌ大聖堂、Glasfachschule Zwiesel、Bild-Werk Frauenau、Scuola del Vetro、Centro Studio Vetro、CERFAV

研修概要:目的:ボヘミアンガラスに代表される絵付けしたガラス作品は、非常に優れた加飾技法の技術を駆使した製品であった。しかし、近年、それらの優れたガラス作品を見ることがなくなってきた。そこで、ドイツの伝統的な絵付け技法を学ぶと共に、ガラス製品のデザインについて調査研究を行う。また、イタリア、ドイツ、フランスの教会のステンドグラスの見学とガラス教育の実体を知るため、ガラスの専門教育機関を取材し、設備、教育の現場を調査する。 計画:7月24日～7月31日 イタリア バチカン博物館(ローマ)、サン.フランチェスコ寺院(アッシジ)、ヴェネチアビエンナーレ(ヴェニス)、Scuola del VetroとCentro Studio Vetro (ムラノのガラスの学校)を見学。8月1日～8月25日 ドイツ.バイエルン地方の Einsh ガラス工場で、エナメル絵付けの実技研修とプロダクションラインでの共同デザイン研究。ヴィンダ・マングラス博物館(passau)で12000点所蔵のボヘミアンガラスを見学。Glasfachschule Zwiesel(ガラスの学校)見学。

8月26日～9月10日 フランス ストラスブル大聖堂、ナンシー派美術館、ランス大聖堂、サンテティエンヌ大聖堂のステンドグラスを見学。バカラ社、サンルイ社、ドーム社など、ナンシー地方のガラスの工場とCERFAV(ガラスの学校)を見学。9月11日～10月2日 ドイツ Einsh ガラス工場で、再び実技研修と共同デザイン研究を続ける。